

(仮称)大田区無電柱化推進計画 骨子(案) 概要版(1/2)

1. 無電柱化の現状と課題

現状

- ✓ 蒲田駅・大森駅・田園調布駅等の駅周辺や補助第44号線等の都市計画道路、災害発生時の救命・救急活動や円滑な避難の際に重要となる路線(道路障害物除去路線)などで無電柱化を実施
- ✓ 京急蒲田駅・糎谷駅付近の再開発事業においても、関係者の協力により無電柱化を実施
- ✓ 令和2年4月1日時点で区道約777kmのうち約10.6kmの無電柱化を実施(区道全体の約1.4%)



図1 蒲田駅東口周辺

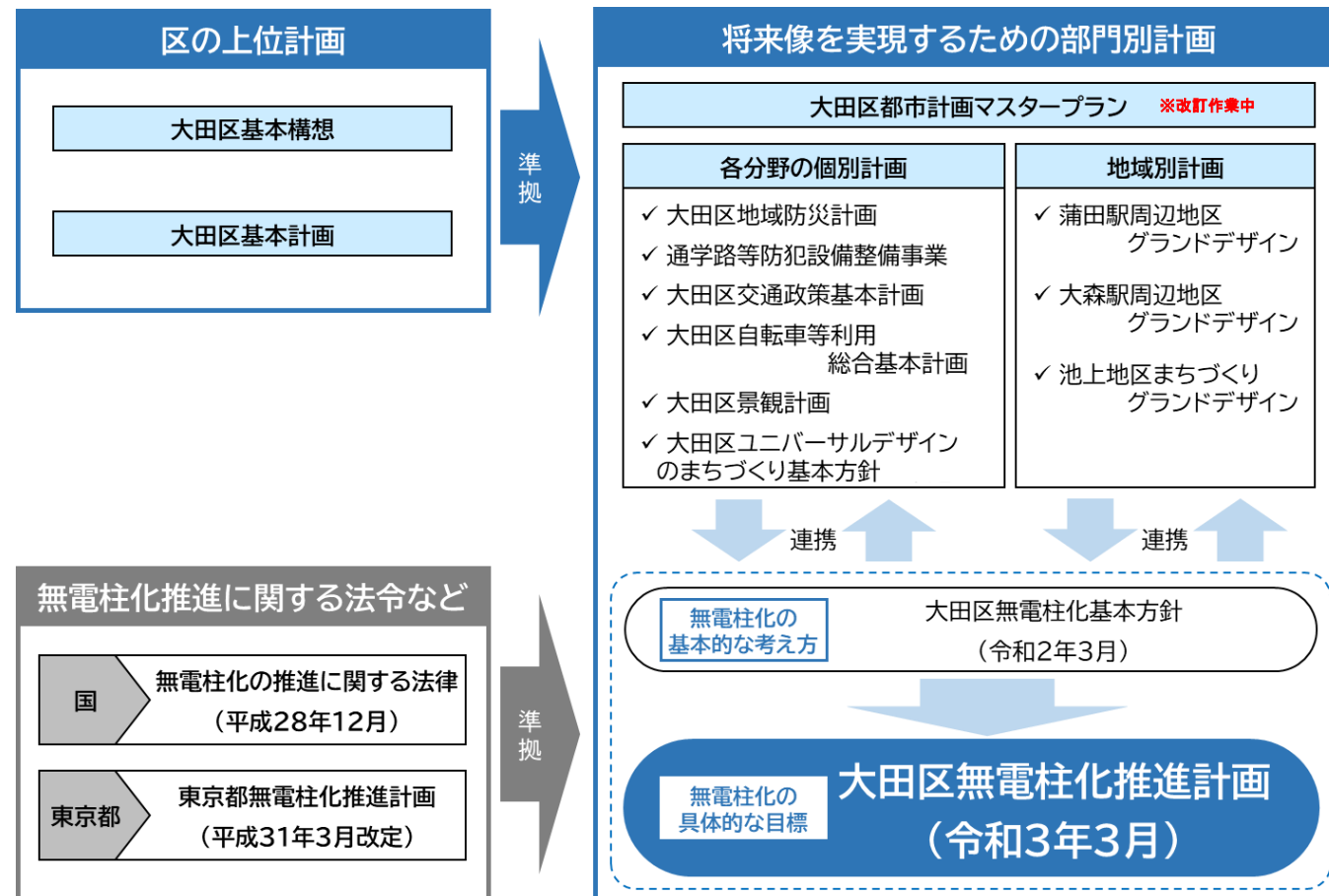


図2 補助第44号線上池台付近

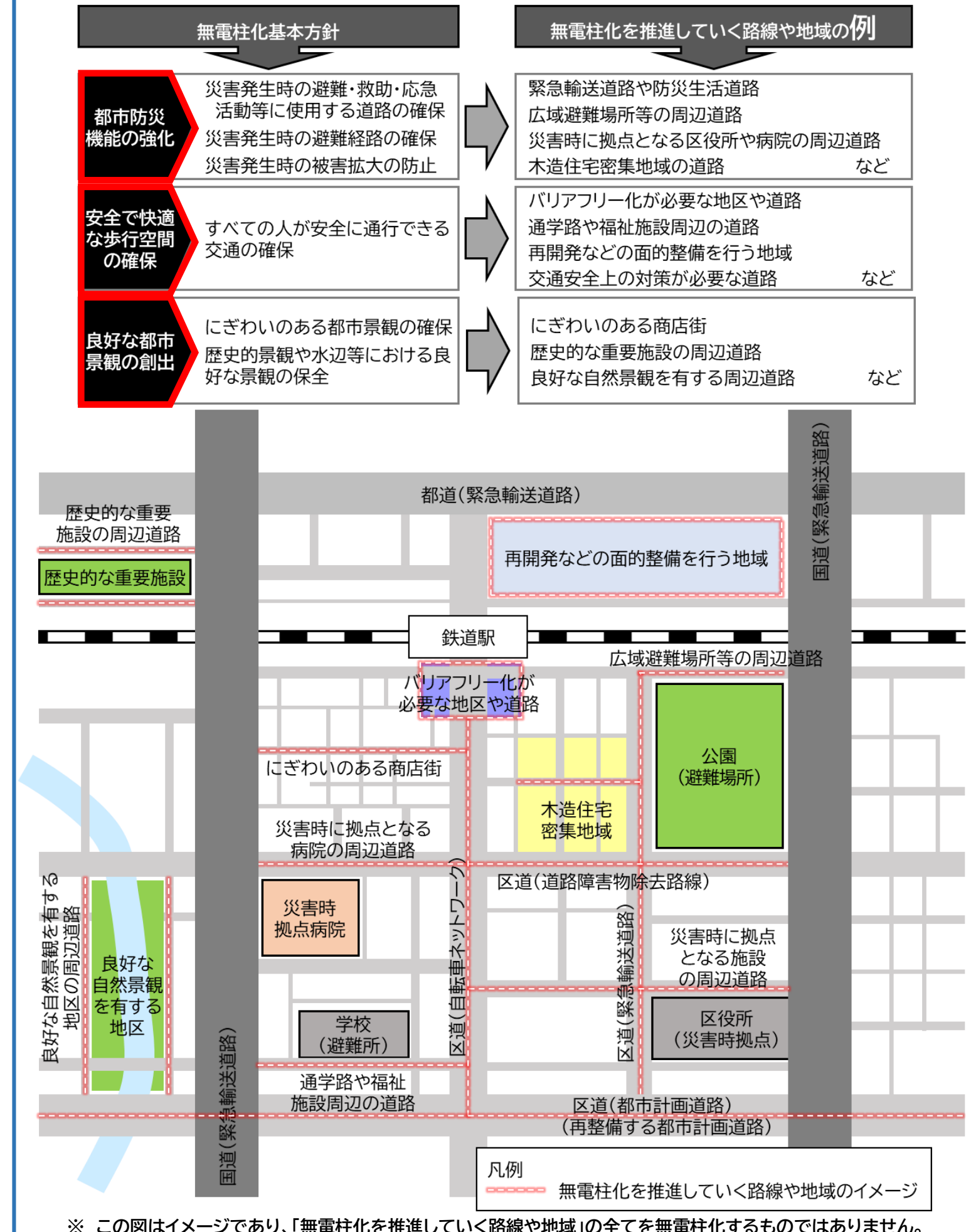
課題

- | | |
|-----------------------------|-------------------|
| ① 道路の幅が狭く、電線共同溝の整備空間がない | ← 歩道幅員で2.5m以上が必要 |
| ② 電線共同溝の整備には多大な費用が必要になる | ← 5.3億円/km ※施設延長 |
| ③ 無電柱化の工事には長い期間が必要になる | ← 道路400mの無電柱化に7年 |
| ④ 関係者との合意形成を図っていく必要がある | ← 関係者との協議や沿道区民の協力 |
| ⑤ 無電柱化を計画的かつ効果的に推進していく必要がある | ← 関連計画との連携 |

2. 無電柱化推進計画の位置付け



3. 無電柱化を推進する路線や地域のイメージ (大田区無電柱化基本方針より)

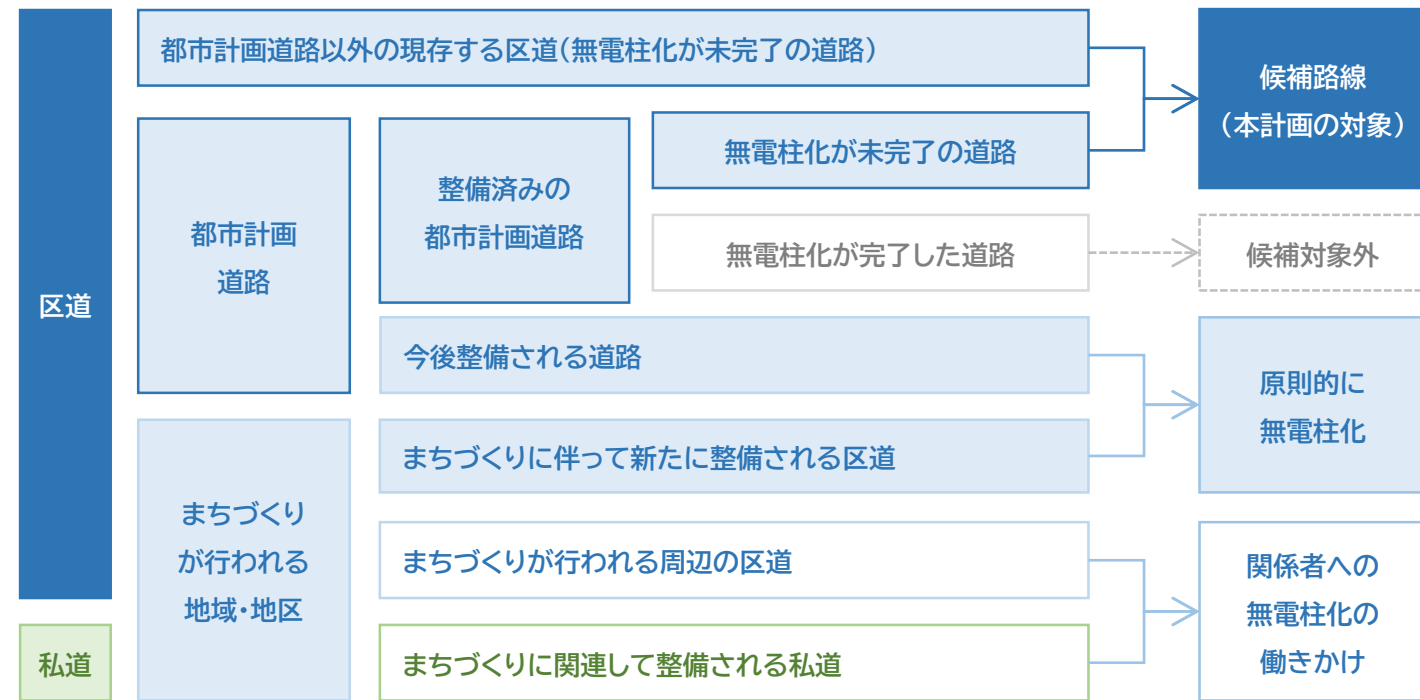


(仮称)大田区無電柱化推進計画 骨子(案) 概要版(2/2)

4. 無電柱化推進の基本的な考え方

考え方

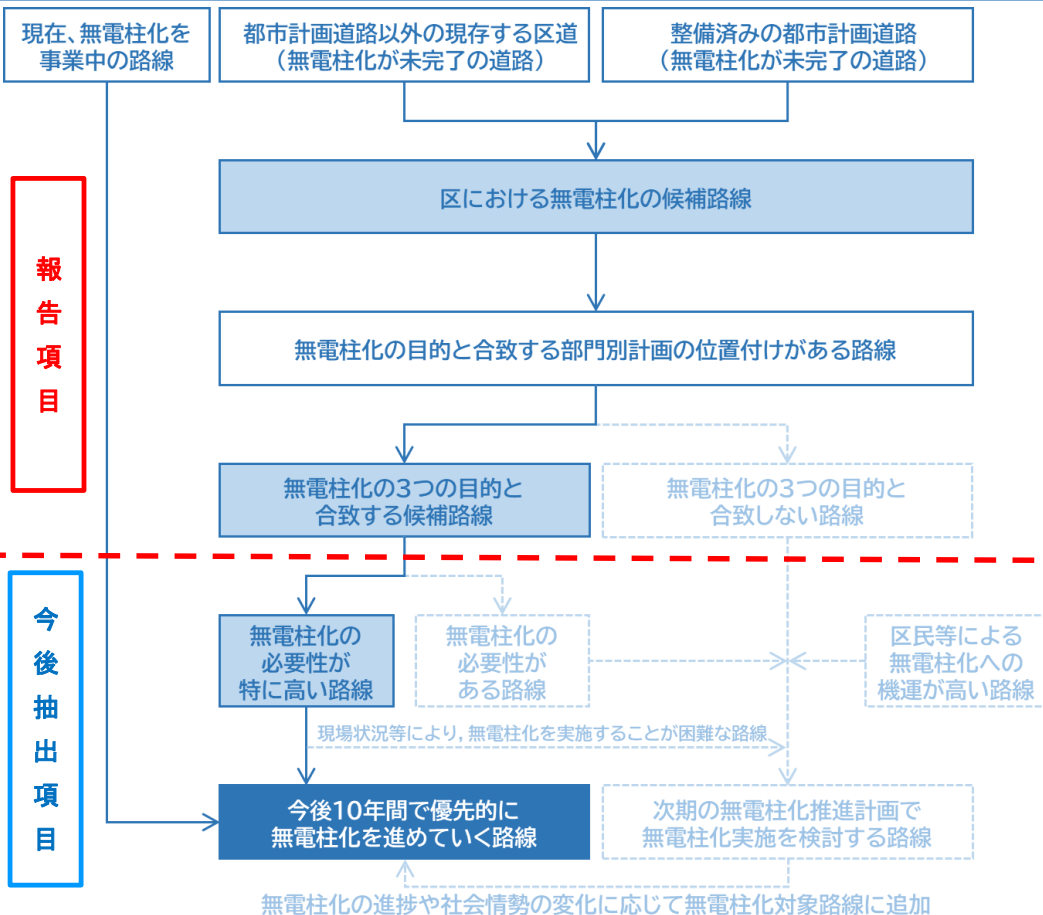
- ✓ 無電柱化が未実施の区道を対象とし、無電柱化の必要性和実現性の高い路線から整備を予定
- ✓ 今後、新たに整備される区道(都市計画道路など)については、原則的に無電柱化を実施
- ✓ 計画期間は、関連計画との連携の視点から、令和3年度～令和12年度(計画期間10年間)と設定



5. 無電柱化候補路線の抽出と優先整備道路の選定

抽出方法

- ✓ 無電柱化の目的(①都市防災機能の強化, ②安全で快適な歩行空間の確保, ③良好な都市景観の創出)の観点から、区の関連計画等に基づき無電柱化の必要性がある区道を無電柱化候補路線として抽出。
- ✓ 無電柱化候補路線から、無電柱化の実現性(現場状況・コスト・期間等)を検証の上で、区における喫緊の課題や関連計画との連携などをふまえて今期の無電柱化推進計画における優先整備路線を選定予定。
- ✓ 優先整備路線とならなかった路線や、計画期間中に区民等による無電柱化への機運が高い路線などが生じた場合は、弾力的に優先整備路線への位置付けの変更を検討。



<参考> 無電柱化推進計画策定スケジュール

(無電柱化基本方針): 令和元年度

令和元年7月12日	『大田区無電柱化基本方針策定』のポイント等	委員会報告
令和元年12月16日	『大田区無電柱化基本方針(素案)』について	委員会報告
令和元年12月19日	『大田区無電柱化基本方針(案)』について学識経験者へヒアリング	
令和2年1月29日	『大田区無電柱化基本方針(案)』および(案)のパブリックコメント実施について	委員会報告
令和2年2月3日～2月17日	『大田区無電柱化基本方針(案)』に関するパブリックコメントの実施	
令和2年2月26・27日	『大田区無電柱化基本方針(案)』のパブリックコメントの結果について	委員会報告
令和2年3月末	『大田区無電柱化基本方針』	区長決定

(無電柱化推進計画): 令和2年度

令和2年10月	『(仮称)大田区無電柱化推進計画』における無電柱化候補路線の抽出に ついて	庁内調査
令和2年12月	『大田区無電柱化推進計画 骨子(案)』について学識経験者へヒアリング	
令和2年12月15日	『大田区無電柱化推進計画 骨子(案)』	委員会報告
令和3年2月	『大田区無電柱化推進計画(案)』について学識経験者へヒアリング	
令和3年2月	『大田区無電柱化推進計画(案)』	委員会報告
令和3年3月末	『大田区無電柱化推進計画』	区長決定